

令和2年2月5日

# 気仙沼とインドネシアの小学生がテレビ電話で交流



2020東京五輪・パラリンピック大会に向け、気仙沼市ではインドネシア共和国を相手国とし「復興ありがとうホスタウン」に登録し、様々な交流事業を行っています。

その交流事業の一環として気仙沼小学校5年生(児童58人)とインドネシア・アチェ小学校5年生(児童61人)がインターネット電話「スカイプ」を通じて、互いの学校生活や生活文化の紹介、合唱などを通じ友好を深めました。

子どもたちは「お互いの国のことが分かり合えた。仲良くなれて良かった。インドネシアに興味を持った。旅行してみたい。」など両国の暮らしや文化を理解し、心を通わせ合いました。

今回の交流を通じ、インドネシアを身近な国として感じ、オリンピック・パラリンピックへ出場する両国の選手を応援する機運も高まっています。

